

※数字は学校教育自己診断の回答のうち肯定的評価の割合(%)を示す。

(「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合)

【I】保護者からの回答に関して (R5→R6→R7)

(1) 学校生活全般に関する設問について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

1. 子どもは学校行くのを楽しみにしている (83%→80%→82%)
3. 生活指導の方針に共感 (67%→65%→66%)
4. 将来の進路や職業について適切な指導 (69%→72%→73%)
5. 子どもの心身の健康について気軽に先生に相談できる
(58%→59%→60%)

13. 学校はいじめについて子どもが困っていれば真剣に対応
(27%→28%→28%)

- ・すべての項目について、昨年度比で上昇している。定期・臨時の連絡メールの発信等により、学校の取組みを理解いただいている。
- ・「学校はいじめについて…真剣に対応」について「わからない」との回答が多いのは、いじめ状況そのものが少なく、判断できないことによると考えられる。毎年3回、全生徒へのいじめ等(安心安全生活)アンケートなどを引き続き丁寧に実施し、いじめを見逃さない取組みを続ける。

(2) 学校行事(特別活動)に関する設問について「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

6. 学校行事は子どもにとり有意義 (95%→94%→96%)
 7. 人権尊重の意識や社会ルールを育成 (70%→72%→71%)
- ・学校行事に関しては、本年度も高い水準を維持している。体育祭、文化祭とも達成感のある行事となっていると思われる。また、修学旅行は昨年度より行先を台湾として実施している。

(3) 学習活動および学習環境についての「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

2. 子どもは授業がわかりやすく興味深いと言っている (50%→50%→52%)
※生徒の「授業はわかりやすい」の回答との比較 (70%→73%→77%)
 9. 学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる (45%→43%→46%)
- ・「授業がわかりやすく興味深い」と家庭で話している生徒は、毎年少しずつ増加しているが、同じ質問の生徒回答では20%以上の開きが見られ、保護者の学校への期待の高さがうかがえる。
 - ・施設設備について、老朽化が進み、改修要望は多い。不具合が生じたことも少なくないが、即時に対応することで、満足度はやや持ち直した。

【Ⅱ】生徒からの回答に関して (R5→R6→R7)

(1) 学校生活全般に関する設問について「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

1. 学校へ行くのが楽しい (85%→83%→86%)
20. 学校生活の満足度 (82%→83%→86%)
 - 1年生：79%→78%→88%
 - 2年生：81%→83%→82%
 - 3年生：85%→89%→89%
21. 後輩に旭高校を勧めるか (69%→73%→79%)
 - 1年生：73%→72%→87%
 - 2年生：64%→75%→68%
 - 3年生：71%→71%→83%

- ・本校での高校生活を楽しいと感じている生徒が80%以上いることを維持している。各学年ともに年次の進行とともに満足度が高まっている。充実した学校生活を送っているものと評価できる。
- ・現1年生は「満足度」「旭高を後輩に勧めるか」とともに非常に高い。学年が進行してもこの水準を維持できるように努めていきたい。

(2) 学習について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

2. 先生は生徒の意見を聞いてくれる (81%→84%→86%)
3. 授業はわかりやすい (70%→73%→77%)
4. 授業で分からないところについて先生に質問しやすい (76%→77%→75%)

- ・「先生は生徒の意見を聞いてくれる」の肯定的回答は約86%となった。
- ・「授業で分からないところ…質問しやすい」の肯定的回答も上昇傾向である。更なる上昇をめざしたい。
- ・「授業はわかりやすい」の肯定的回答が増加している。今後も増加させたい。

(3) キャリア教育・人権教育について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

10. 将来の進路や生き方について考える機会がある (90%→92%→95%)
14. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある (88%→92%→94%)

- ・進路について考える機会について、年々肯定的回答が増加している。進路行事を多彩に企画し、生徒が進路を考えるよい契機にできていると言える。
- ・命の大切さ、個人の違いを理解し尊重すること、よき関係を保つために社会のルールについて学ぶことなど、教育活動全般を通じて取組んでいる。

(4) 家庭学習時間について

22. 平日の勉強時間

0～30分	(54%→58%→55%)
1時間	(24%→21%→22%)
2時間以上	(22%→21%→23%)

23. 休日の勉強時間

0～30分	(51%→52%→52%)
1時間	(20%→20%→18%)
2時間以上	(28%→29%→30%)

- ・平日、休日とも勉強時間が30分以下の生徒が昨年より増加した。
また、平日、休日2時間以上学習する生徒の割合が2%弱増加した。
- ・11月現在の通塾率は28%（1年25%、2年24%、3年36%）昨年度は27%であった。

【Ⅲ】その他全般に関して（R5→R6→R7）

11. 学校からの連絡を子どもがもらさず伝えている

保護者	(61%→56%→59%)
生徒	(78%→82%→78%)

10. 学校が家庭連絡を積極的に行っている

保護者	(68%→65%→64%)
-----	---------------

17. 保護者が旭高校のどこに最も注目しているか（いずれか1つ）

教育方針	(15%→15%→14%)
生徒会活動や行事	(19%→16%→16%)
進路実現	(45%→40%→39%)
国際交流	(16%→21%→21%)
部活動	(5%→9%→10%)

- ・学校からの家庭連絡については、今後ともメールによる情報配信やHPの充実など、情報発信に努めていきたい。
- ・進路実現が最も高いが、国際交流や部活動についての関心度が上昇している。